

音楽学部

教養部会講師 キアラ ザンボルリン

1. 研究活動

a 演奏会・展覧会・競技会等の名称・著書・論文・作品等の名称（項目ごとに記入する）	b 発表または発行の年月日	c 演奏会・展覧会の会場・主催等または論文等の発行所・発表雑誌等の名称	d 発表・展示・作品等の内容等・論文概要等（共著の場合のみ編者・著者名を記入）
<学術論文>			
Tipologie d' Errori Interpretativi nella Traduzione di Testi d' Opera: Le nozze di Figaro.	2011. 3	『名古屋芸術大学研究紀要』N. 32、109～122頁	オペラ台本解釈におけるいくつかの誤解の例～フィガロの結婚～
<研究発表>			
Intercultural Pragmatics and Italian Opera.	2010. 7. 17	神戸大学：The 18th International Conference on Pragmatics and Language Learning. Kobe University, July 16-19 2010. (Poster session)	4年間に渡って名古屋芸術大学音楽学部・大学院でオペラ台本解釈の演習を担当した。2010年度の研究発表では当該演習で収集したデータを分析し、以下の項目について考察した。 (1)翻訳における文法的原因に基づいた間違いと違って、語用論的原因から生み出された誤解は漠然としているため、見逃されることが多い。 (2)しかし、これらの誤解を見分けることができなければ、異文化間コミュニケーションに関わる間違いが発生することがある。 (3)更に、美学的観点からオペラ歌詞を理解することが難しくなる。 (4)ハーバーマスによる語用論的意味論の「コンセンサス」という概念を踏まえ、オペラのイタリア語学習に関して語学力ばかりでなく異文化間理解を目指した総合的な教育を実施することが可能であることを指摘した。
Implicazioni Pragmatico-inferenziali nella Didattica dell' Italiano dell' Opera in Giappone. (2010年度短期海外出張音楽学部研究助成)	2010. 9. 17	ナポリ大学：XXXIV Convegno di Studi sul Giappone AISTUGIA (The 34th AISTUGIA Conference on Japanese Studies), University of Naples "L' Orientale," Naples, September 15-18, 2010. (Oral presentation)	
L'italiano dell'opera nostro e dei giapponesi. Uno studio pragmatico interculturale.	2010. 10. 21	東京イタリア文化会館：Giornata degli italianisti in Giappone. Tokyo, Italian Cultural Institute. (Invited lecture)	
(Mis) understanding Italian Opera.	2010. 11. 20	JALT-全国語学教育会 第36回年次国際大会 2010年11月19日～2日 愛知県名古屋市/愛知県産業労働センター (Oral presentation)	

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
---------------------------	-------------------

授業科目 イタリア語 I・I・III		・(2010-) Member of the Commission for Italian Language Education, Italian Institute of Culture in Tokyo (Italian Ministry of Foreign Affairs) . 東京イタリア文化会館 (イタリア外務省) 『日本におけるイタリア語・イタリア文化教育委員会』の委員として活動。イタリア外務省後援『OPERA PRIMA』プロジェクトに参加。このプロジェクトにおいて日本で教育活動をするイタリア人の共同研究者と共に、以下を作成した: (1)イタリア語・イタリア文化の教科書 (2)教授方法マニュアル (3)イタリア語の文法手引き (日本語) (4) CD
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
『ピーリエー体験しようイタリア語 (聴解と表現)』(Mizuno & Zamborlin 2009) 付属 DVD に基づいたイタリア語コミュニケーションの授業を行った。	Keynote スライドショーのアニメーションに基づいた語学教育を行った。	
授業科目 異文化入門・イタリア		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
講義は Keynote プレゼンテーションの形で行った。		
授業科目 舞台言語表現演習 (大学院)		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
オペラディクシオンを詳しく教え、様々なオペラ台本の文化的背景について説明した。	オペラ台本に基づいて、練習問題やテストを作成した。	
授業科目 外国語研究・イタリア語 (大学院)		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
『ピーリエー』付属 DVD に基づいたイタリア語コミュニケーションの授業を行った。		

3. 学会等および社会における主な活動

h 学会等の名称	i 活動期間	j 活動概要その他
Japan Association for Language Teaching - 全国語学教育学会 (日本)	1994 年～現在に至る	会員
Associazione Italiana Studi Giapponesi - 伊日研究学会 (イタリア)	2001 年～現在に至る	会員
Linguistic Association of West Japan - 西日本言語学会 (日本)	2002 年～現在に至る	会員
International Pragmatics Association 国際語用論会 (ベルギー)	2006 年～現在に至る	会員